

特定操縦技能審査 / AFR チェックシート [滑空機]

<input type="checkbox"/> 特定操縦技能審査 <input type="checkbox"/> AFR 実施日: 20 (H)年 月 日		JSC-FORM-CHECK-G 2016-10-10
所属	氏名 <input type="checkbox"/> PIC	審査員 <input type="checkbox"/> PIC 認定番号: TG (JSCAFR時のPICは審査員)
技能証明書 <input type="checkbox"/> 自家用 <input type="checkbox"/> 事業用	<input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 動力 番号: 操縦期限(現): 20 年 月 日	<input type="checkbox"/> 教育証明 番号: 操縦期限(新): 20 年 月 日
航空身体検査	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 番号: 有効期限 : 20 年 月 日	
無線従事者免許	資格: 番号:	
乗務員飛行日誌 (滑空機飛行時間 =上級+動力)	総飛行時間 : 機長時間 : 操縦教員時間 :	最近1年間 : 最近1年間 : 最近1年間(2時間以上) :
提出書類	<input type="checkbox"/> 1 特定操縦技能審査申請書 <input type="checkbox"/> 2 特定技能審査結果報告書 <input type="checkbox"/> 3 技能証明書および航空身体検査証明書のコピー(別々にコピー) <input type="checkbox"/> 4 JSCチェックシートおよびJSC記述問題ペーパー(⇨JSC AFR時はこれのみ)	
飛行前作業 機長の出発前の確認事項		自己評価欄 G・Y・R ↓
1 証明書・書類 : 航空機登録証明書、耐空証明書、運用限界等指定書、航空日誌、その他必要書類		
2 気象情報の入手、解析、説明		
3 航空情報の入手、説明		
4 整備状況の確認		
5 重量・重心位置・重量分布の確認		
6 積載物の安全性の確認		
7 飛行前点検 : 外部点検、離陸前点検 (ABCD) (CHAOTIC)		
曳航離陸 通常離陸・横風離陸		
1 発航準備 : 曳航機との打ち合わせ、運航情報の入手・適切な発航手順、発航可否の判断・連絡		
2 離陸操作 : 適正な浮揚操作、適正な方向・追従位置・航跡の維持、速度・ポーイングの修正操作		
3 安全高度通過時の確認 (360ft/120m=300ft/100mAGL)		
曳航上昇・離脱		
1 直線・旋回 : 適切な追従位置の維持、曳航索張力の適正な保持・たるみの修正操作		
2 ボックス : 適切な操舵と手順		
曳航課目 (JSC AFR規定)		
3 緊急時のシグナル(ロックウイング)の確認		
4 離脱操作・離脱通報 : 離脱の目視確認、空域の安全確認、曳航機との安全間隔の確保		
5 Sターン(2回以上)・360°旋回(左右)		
インストラクター課目 (JSC AFR規定)		
6 降下 3000ft↘2700ft (1.5m/sec=300ft/min)		
エアワーク(JSC AFR規定)		
インストラクター課目 (JSC AFR規定)		
1 直線失速(初期)		
2 旋回失速(初期) バンク15°±10°		
3 スピン(1/2回転)		
4 急旋回 バンク45°±10° 速度100±18km/h 針路±10°		
5 低速飛行 バンク15°±10° 速度 80+9-5km/h 針路±10°		
6 上昇形態失速、2次失速、パーティーゴ(シミュレーション)		
7 地点目標を中心とした旋回(バンク25~45°)		
場周経路の飛行 : 所定の場周経路を、適切な高度と速度で正しく飛行でき、円滑で釣り合いのとれた操作で滑空できること		
1 エントリーレグ (IP経由のエントリー)		
2 ランディングチェック (FUJST)・着陸通報		
3 チェックポイント高度 (700ft/200m以上)		
4 場周速度 ±18km/h		
5 場周経路の針路維持±10° (偏流修正操作)		
6 先行機との適切な安全間隔の設定		
7 第3旋回位置、高度		
8 第4旋回位置、高度 (バンク30°以下)		
ファイナルアプローチ : 三舵を適切に操作し、最終進入経路を正しく進入でき、また適切な横風修正ができること		
1 進入速度 100+α±9km/h : 最終進入速度=推奨最小進入速度+風速勾配を考慮した追加速度		
2 パス(降下角)の調整 : エイミングポイントの設定、エアブレーキ操作		
3 センターライン維持 : 横風修正操作		
4 フォワードスリップ : 初期失速を起こさないこと、対地60m(200ft)以上で終了 インストラクター課目 (JSC AFR規定)		
着陸操作 通常着陸 滑走路() 風向風速(° / m/s)		
1 フレア操作 : 横滑り状態がない、安全な姿勢での接地操作		
2 指定地着陸 60m以内 / 30m以内 インストラクター課目 (JSC AFR規定)		
3 着陸滑走 : 接地後の適切な方向維持、減速操作		
口述審査(約30分) 運航に必要な知識の確認(口述ガイダンスから出題)⇨JSC記述問題ペーパーをレビュー		
1 最近の変更点 : 航空法・通達・勸告・管制方式基準・AIC・滑空場規則等 / 事故事例		
2 一般知識 : VFR・航空交通管制・捜索救難の諸規則 / 人間の能力および限界に関する事項 / その他必要な事項		
3 航空機事項等 : 飛行規定(性能・諸元・運用限界等) / 諸系統・諸装置・諸装備 / 通常・緊急操作 / その他必要な事項		
4 ソアリング操作 : サーマル、リッジ・スロープ、ウエーブに必要な知識、能力の確認		
5 異常時・緊急時に必要な知識、操作手順 : ①曳航中 ②諸系統・装置の故障 ③場外着陸・背風着陸		
⇨1 および2については、2年以内の航空安全講習会受講により一部免除となる。		
自己評価(自己評価欄へ記入) G (green): 良好 Y (yellow): 思ったほどうまく出来なかった R (red): 技量、知識が落ちている		
講評(約30分) (技能証明書 / ログブックに必要事項記入)		
総合判定 (JSC AFR規定) <input type="checkbox"/> A: PICとしての飛行が可能 <input type="checkbox"/> B: PICは一定の条件で可能 <input type="checkbox"/> C: 追加の複座練習を推奨		